



ここからお切り下さい。

開封後はチャックを閉じて保存して下さい。

チャック

2018年4月改訂

貯法

室温保存

動物用医薬品 豚用

指定医薬品 使用基準

承認指令書番号

14生畜第4655号

販売開始

1996年

再審査結果

2000年12月

アイボメック® プレミックス 0.6%

【成分及び分量】

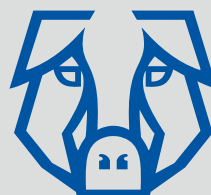
本品100 g中、イベルメクチン0.60 gを含有する。

【効能又は効果】

豚の下記の内部寄生虫及び外部寄生虫の駆除

豚：内部寄生虫－豚回虫、豚腸結節虫及び豚糞線虫

外部寄生虫－疥癬ダニ（穿孔ヒゼンダニ）、ブタジラミ



【用法及び用量】

1日体重1 kg当たりイベルメクチンとして100 µgを7日間飼料に均一に混じて投与する。

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・ 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・ 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・ 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- ・ 本剤を再投与する場合は7日以上の間隔をあけること。
- ・ 本剤は飼料に添加し豚にのみ投与するように製剤化されているので、他の動物種には使用しないこと。
- ・ 本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（豚）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

豚：食用に供するためにと殺する前7日間

（豚に関する注意）

- ・ 本剤は飼料添加剤であるので、それ以外の投与方法（強制経口、筋肉内、皮下投与等）は行わないこと。
- ・ イベルメクチンの疥癬ダニに対する効果は速効性ではないので、投与終了後最低1週間は投与動物を清浄区域に移動したり未感染動物に近づけないこと。
- ・ 本剤はシラミの卵を殺さない。シラミの卵の孵化には最大3週間を要するので、投与後に孵化したブタジラミが認められる場合は本剤の再投与を行うこと。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・ 小児の手の届かないところに保管すること。
- ・ 本剤の保管は高温及び多湿を避けること。
- ・ 本剤は魚及びある種の水棲生物に影響を与えることがあるので、容器及び残りの薬剤は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・ イベルメクチンは主として糞中に排泄されるので、排泄物の肥料化又は浄化処理を適切に行うこと。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・ 本剤を誤飲した場合は、直ちに医師の診察を受けること。

（豚に関する注意）

- ・ 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

® 登録商標

製造番号：

使用の期限：

【使用の期限】

袋に記載

【包装】

アイボメック プレミックス 0.6 % (333 g入り)

【製品情報お問い合わせ先】

ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン株式会社

〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1

TEL: 03-6417-2800

333g

注意—使用基準の定めるところにより使用すること

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

推奨投与方法

1. 肥育豚

体重40 kg未満では定められた用量を飼料添加する場合、飼料1 t当たりイベルメクチンとして2 g (2 ppm) を均一に混合する。例えば本剤333 g 1袋を飼料4.7 kgと混合し希釈した中間プレミックスを、最終飼料1 tに混合すること。体重40 kg以上ではイベルメクチンの飼料中濃度を2.4 g (2.4 ppm) に上げる必要があるため、本剤400 gを飼料4.6 kgと混合し希釈した中間プレミックスを、最終飼料1 tに混合すること。

体重 (kg)	最終飼料1 t 当たりの本剤の量 (g)	イベルメクチン濃度 (ppm)
<40	333	2.0
40～100	400	2.4

2. 成豚

母豚、種雄豚に規定された用量を飼料添加する場合、飼料1 t当たりイベルメクチンとして10 g (10 ppm) を均一に混合し、体重100 kg当たり1 kgの添加飼料を7日間与える。例えば本剤1.67 kg (333 g 5袋) を飼料23.5 kgと混合し希釈した中間プレミックスを、最終飼料1 tに混合すること。ただし、体重、1日当たりの飼料摂取量により下表のように本剤の量を調整すること。

平均体重 (kg)	1日飼料摂取量 (kg)	最終飼料1 t 当たりの本剤の量 (kg)	イベルメクチン濃度 (ppm)
200	2.0	1.67	10.00
	2.5	1.33	8.00
	3.0	1.11	6.67
250	2.5	1.67	10.00
	3.0	1.39	8.33

3. 体重別1頭当たりの本剤必要量

体重 (kg)	1頭1日当たりの本剤の量 (g)	1頭7日間当たりの本剤の量 (g)
50	0.8	5.6
100	1.6	11.2
150	2.5	17.5
200	3.3	23.1
250	4.1	28.7
300	5.0	35.0

B2

【製造販売業者】



Boehringer
Ingelheim

ベーリンガーインゲルハイム
アニマルヘルス ジャパン株式会社
東京都品川区大崎 2-1-1

